（様式再構築第１号）

補助金交付申請書(中核ＳＳにおける自家発電設備の入換事業用)

２０２３年　　月　　日

一般社団法人　全国石油協会

会　　長　　山冨　二郎 　殿

○ＳＳの事業再構築・経営力強化事業交付規程第９条第１項の規定に基づき、上記補助金の交付について下記のとおり申請します。

○申請者：申請給油所等の運営者と所有者が同じ場合、「給油所等の運営者」の欄に記入し、捺印する。

申請給油所等の運営者と所有者が相違する場合、それぞれ双方の者が記入し、捺印する。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申　請　者  (補助金の受給者及び管理者) | | １．給油所等の運営者  (運営者と所有者が同じ若しくは賃借人) | | | | | | | | | ２．給油所等の所有者  (賃貸人) | | | | | | | | | |
| 申請者の法人番号  (法人のみ：１３桁)  ※個人事業者は、記載しない | |  | |  |  |  |  | |  |  | |  | |  |  | |  | |  |  |
| 給油所の運営者 | 住　　　　　　所  (都道府県名から記入) | 〒 |  | | | | |  | | | | | | | | | | ㊞ | | |
|  | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会社名又は名称  及び代表者名 |  | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品質確保法登録番号  (親番のみ、枝番の記載不要) | － 第　　　　　　　　　号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電話番号/ＦＡＸ番号 | ／ | | | | | | | | | | | 担当者名 | | |  | | | | |
| 給油所の所有者 | 住　　　　　　所  (都道府県名から記入) | 〒 |  | | | | |  | | | | | | | | | | ㊞ | | |
|  | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会社名又は名称  及び代表者名 |  | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電話番号/ＦＡＸ番号 | ／ | | | | | | | | | | | 担当者名 | | |  | | | | |
| 設置給油所 | 品質確保法登録番号 | － 第　　　　　　　　　号（　　　　　　） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名　　　　　称 |  | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所　　在　　地  (都道府県名から記入) |  | | | | | | | | | | | | | | | | 本会使用欄 | | |
| 電話番号(市外局番から） |  | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

|  |  |
| --- | --- |
| 受付印  （組合用） | 受付印  （協会用） |

○設置内容等について

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １. 給油所内の計量機の種類  (灯油を含む) | マルチ型 | 台 | | ダブル型 | | 台 | シングル型 | | 台 |
| ２.上記「1.」のうち自家発電設備で稼動予定の計量機 | マルチ型 | 台 | | ダブル型 | | 台 | シングル型 | | 台 |
| ３.計量機以外に電力供給予定の機器等  (該当するものに○を付す) | ＰＯＳ ・照明機器 ・冷暖房設備 ・防犯設備 ・その他（　　　　）・なし | | | | | | | | |
| ４.自家発電設備の設置予定場所及び設備の形態  (いずれかに○を付す) | 設置予定場所 | | | | 設備の形態 | | | | |
| １.給油所内 | | ２.給油所外 | | １.可搬式 | | | ２.固定式 | |
| ・自家発電設備のメーカー名 |  | | | | | | | | |
| ・自家発電設備の型番 |  | | | | | | | | |
| ・自家発電設備の定格出力  　（三相：小数点第1位まで） | ｋＶＡ：所在地の電源周波数（50・60Ｈｚ（いずれかに○）） | | | | | | | | |
| ・既存自家発電設備の定格  出力 | 合計　　　　　　　ｋＶＡ（台数：　　　　台） | | | | | | | | |
| ５.工事費用総額(補助申請額) | 円（税抜） | | | | | | | | |
| 円（税込） | | | | | | | | |
| ６.見積業者名(発注予定業者) |  | | | | | | | | |
| ７.工事予定期間 | ２０２３年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日 | | | | | | | | |

【ご注意】

　１.上記「1.」及び「2.」のシングル型計量機に簡易計量機が含まれている場合は、下記欄に簡易計量機の台数を記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 簡易計量機 | 台 | 自家発電設備で稼動予定の計量機台数 | 台 |

２.「稼動予定計量機台数」に対する「自家発電設備の定格出力」等や「見積書」の内容について、説明を求める場合があります。

【ジービスインフォについて】

○国の予算の支出先、使途の透明化及びオープンデータの取組を政府として推進するため、全国石油協会が行う補助事業者への補助金の交付決定等に関する情報（採択日、採択先（交付決定先）、交付決定日、法人番号、交付決定額等）について、ジービズインフォに原則掲載されることとなりますので、事前にご承知置きください。

（※）ジービズインフォとは、マイナンバー制度の開始を踏まえ、法人番号と補助金や表彰情報などの法人情報を紐づけ、誰でも一括検索、閲覧ができるシステムです。【掲載アドレス：https://info.gbiz.go.jp/】

○法人番号の調べ方等

　　　①国税庁の「法人番号公表サイト（http://www.houjin-bangou.nta.go.jp/kensaku-kekka.html）」から検索し、検索結果を必ず本交付申請書に添付して下さい。

（１３桁：商業登記簿謄本の会社法人等番号(12桁)ではありませんので、ご注意ください)

②法人番号などを記載した書面を国税庁長官から通知されています(平成27年10月から通知を開始)。

（細則様式２）

２０２３年　　月　　日

一般社団法人 全国石油協会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （運営者：揮発油販売業者、石油販売業者、石油組合) | | |
| 氏名又は名称 |  | |
| 及び代表者名 |  | ㊞ |
| 運営者と所有者が同じ場合は、「運営者」の欄に記入。 | | |

会 長 　山 冨　二 郎　　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （所有者） | | |
| 氏名又は名称 |  | |
| 及び代表者名 |  | ㊞ |

誓　約　書

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、ＳＳの事業再構築・経営力強化事業交付規程第５条第３項各号に定める下記の事項に該当いたしません。

申請日以降、補助金の交付を受けた会計年度が終了するまでの間に、この誓約書に違反することがございましたら、申請を取り下げる（既に補助金を受給している場合にあっては、直ちに補助金を返還する）ことを誓約いたします。

なお、適正化法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令、業務方法書及び交付決定の際に付した条件に従うことを承知の上申請します。

記

一　成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ない者

二　禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から２年を経過しない者

三　品質確保法の規定により業務の停止命令を受け、その期間が終了した日、又は罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、若しくは執行を受けることがなくなった日から２年を経過しない者

四　国が行う石油製品の試買分析において、品質確保法で定める強制規格又は標準規格について不適合があり、資源エネルギー庁又は経済産業局から当該油種の販売停止・自粛等の指示又は立入検査を受けた後も同一項目について不適合を出した者（申請の資格を有しない期間は、不適合を出した年度及び最後に不適合を出した翌年度から最初に不適合を出した年度の期間分とする）

五　品質確保法の規定により、経済産業大臣が揮発油の品質の確保に関し必要な措置をとるべきことを指示した場合において、その指示に従わずにその旨を公表された日から２年を経過しない者

六　品質確保法の規定による揮発油の分析を行っていない者

七　私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和２２年法律第５４号）の規定に基づく警告又は排除措置命令を受けた日、若しくは裁判所が差し止めを行った日、又は罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、若しくは執行を受けることがなくなった日から２年を経過しない者、又は「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に基づき策定された不当廉売に関する独占禁止法上の考え方（平成２１年１２月１８日付け公正取引委員会）」に基づく警告を受けた日から２年を経過しない者

八　不当景品類及び不当表示防止法（昭和３７年法律第１３４号）の規定に基づく措置命令、指示、行政指導（警告・注意等公表措置を伴うものに限る）を受けた日、又は罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、若しくは執行を受けることがなくなった日から２年を経過しない者

九　別紙「暴力団排除に関する誓約書」各号に記載されている事項に該当する者

十　暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）の規定に違反し、又は刑法（明治４０年法律第４５号）第２０４条、第２０６条、第２０８条、第２０８条の２、第２２２条若しくは第２４７条の罪又は暴力行為等処罰に関する法律（大正１５年法律第６０号）の罪を犯し、罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から２年を経過しない者

十一　消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成２５年法律第４１号）に基づき策定された、「総額表示義務に関する特例の適用を受けるために必要となる誤認防止措置に関する考え方（平成２５年９月１０日付け財務省）」に基づく行政指導（警告・注意等公表措置を伴うものに限る）を受けた日から２年を経過しない者

十二　補助金の交付の対象となる財産について、所有者又は運用する者としての権利義務を有していない者

十三　経営の状況又はその他の理由によって、石油製品の供給を継続すること（補助金で取得した財産の管理も含む。）が困難と認められる者、その他補助金の交付を受けて行う事業（以下「補助事業」という。）の実施において、不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認められる者

十四　揮発油販売業者が法人の場合にあっては、その業務を行う役員のうち、前１３号のいずれかに該当する者があるもの

以上

別紙

２０２３年　　月　　日

一般社団法人 全国石油協会

会 　長　　山 冨　二 郎　　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （運営者：揮発油販売業者、石油販売業者) | | |
| 氏名又は名称 |  | |
| 及び代表者名 |  | ㊞ |
| 運営者と所有者が同じ場合は、「運営者」の欄に記入 | | |
| （所有者） | | |
| 氏名又は名称 |  | |
| 及び代表者名 |  | ㊞ |

暴力団排除に関する誓約書

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、補助金の交付の申請をするに当たって、また、補助事業の実施期間内及び完了後においては、下記のいずれにも該当しないことを誓約いたします。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

（１）法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の 役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

（２）役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

（３）役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

（４）役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき

以上

（細則様式４）

２０２３年　　月　　日

一般社団法人 全国石油協会

会 　長　　山 冨　二 郎　　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （運営者：揮発油販売業者、石油販売業者、石油組合) | | |
| 氏名又は名称 |  | |
| 及び代表者名 |  | ㊞ |
| 運営者と所有者が同じ場合は、「運営者」の欄に記入。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （所有者） | | |
| 氏名又は名称 |  | |
| 及び代表者名 |  | ㊞ |

取得財産等の管理・処分に関する誓約書

　当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、ＳＳの事業再構築・経営力強化事業交付規程第２３条第１項、第２項及び第４項並びに第２４条第１項、第２項、第３項、第５項、第６項及び第７項の規定に基づき、ＳＳの事業再構築・経営力強化事業交付規程の利用により取得し、又は効用の増加した財産等について、下記の事項を適正に行い、万一違反したときは、直ちに補助金を返還することを誓約いたします。

記

（１）善良な管理者の注意をもって管理し、補助金の交付の目的に従って、その効率的運用を図ります。

（２）取得財産管理台帳を備え、管理します。

（３）固定資産台帳等の写し及び取得財産管理明細表の写しを貴会に定期的に提出し、管理状況を報告します。

（４）処分（補助金の交付の目的に反して使用し、売却し、譲り渡し、交換し、貸付け、担保提供に供し、又は廃棄すること）しようとするときは、あらかじめ貴会の承認を受けることとします。

（５）処分することにより収入があり、または収入があると認められるときは、速やかに貴会に報告し、貴会の請求に応じ、補助金の確定額の合計額を限度とし、その収入の全部又は一部を返納することとします。

以上

（細則様式３）

役員等名簿

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏 名  (カ ナ) | 氏 名  (漢 字) | 生 年 月 日 | | | | 性 別 | 会 社 名 | 役 職 名 |
| 和 暦 | 年 | 月 | 日 |
| 【記入例】  セキユ　ハナコ | 石油　華子 | Ｓ | 30 | 5 | 30 | Ｆ | 株式会社ゼンコク石油 | 代表取締役 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注：記入例は１行目をご参照ください）

・氏名(カナ)欄及び、氏名(漢字)欄の姓と名の間１マス空けて記載。

・生年月日欄（大正はＴ、昭和はＳ、平成はＨ、和暦表示はアルファベット、数字はアラビア数字）

・性別欄（男性はＭ、女性はＦ）

・会社名及び役職名(個人事業主にあっては身分)を記載

また、外国人については、氏名カナ欄は当該アルファベットのカナ読みを、氏名欄にはアルファベットを記載すること

※本名簿についての個人情報は、本会が取扱う国庫補助金事業の交付目的以外に使用することはありません。

（細則様式１）

２０２３年　　月　　日

資源エネルギー庁資源・燃料部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （運営者：揮発油販売業者、石油販売業者、給油所名) | | |
| 氏名又は名称 |  | |
| 及び代表者名 |  | ㊞ |
| 運営者と所有者が同じ場合は、「運営者」の欄に記入。 | | |

石油流通課課長　殿

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （所有者） | | | |
| 氏名又は名称 | |  | |
| 及び代表者名 | |  | ㊞ |
| 給油所名 |  | | |

燃料安定供給計画書

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、ＳＳの事業再構築・経営力強化事業（以下、「当該補助事業」という。）の主旨に則り、下記のとおり取り組むことで、事業再構築や経営力強化を図り、当該補助事業の交付決定日を含む当該事業年度から８年以上にわたり、ＳＳ事業を継続し、立地地域に必要な燃料の安定供給を果たします。

記

１．燃料安定供給に向けた基本方針

①人命の安全（従業員・顧客）を最優先とします。

②自社の健全経営の維持・事業継続を図ります。

③地域社会の一員として、地域行政等との連携・協調のもと、公平かつ適切な燃料供給を行います。

④カーボンニュートラル社会に向けたＳＳの事業再構築・経営力強化を図り、石油製品の安定供給体制を確保します。

⑤災害時等においては二次災害等の防止に努め、安全かつ迅速な燃料供給体制を構築します。

２．燃料安定供給に向けた取組等（それぞれ**具体的に**記載してください）

①地域における燃料安定供給に向けた課題

（自社の事業継続、地域における燃料安定供給に支障を来しうる課題を網羅的に記載してください）

（想定される内容）

販売量・売上の減少に伴う収支悪化、施設・設備の老朽化、人手不足、災害対応　等

②課題解決に向けた取組・対応方針

（想定される内容）

セルフ化による固定費削減・人手不足解消、老朽化設備の更新、災害対応力強化　等

③取組・対応方針における当該補助事業の位置づけ・効果

（想定される内容）

必要資金が確保でき整備可能となった、事業再構築に向けた他の投資が可能となった　等

|  |
| --- |
| ①地域における燃料安定供給に向けた課題  ②課題解決に向けた取組・対応方針  ③取組・対応方針における当該補助事業の位置づけ・効果 |

（注）これらの記載事項については、事業実施後に対応状況の調査やヒアリング等を行う場合があります。

３．同意書等の添付（当該補助事業に係る書類（1点）の添付をお忘れなくお願いします）

|  |  |
| --- | --- |
| 確認欄 | 添付書類の名称 |
|  | ＳＳの事業再構築・経営力強化補助事業に係る同意依頼書（該当するものにチェックしてください）  □ ①地方自治体（□ 総合計画等あり・□ 総合計画等なし）  □ ②石油組合  □ ③その他（　　　　　　　　） |
|  | 燃料油激変緩和事業 広報ステッカー貼付写真 |

（注）

　・添付したことを確認するために、確認欄に「○」印を記入ください。

　・ＳＳの事業再構築・経営力強化補助事業に係る同意依頼書については、同意者に対応した項目にチェック☑してください。なお、「①地方自治体」の場合は総合計画等の有無の区別についてもチェック☑してください。また、「③その他」の場合は同意を得た機関名（例：●●消防署、◆◆自治会等）をカッコ内に記入してください。

　・燃料油激変緩和事業広報ステッカー貼付写真については以下に留意してください。

・撮影日時入りの写真であること

・添付する写真は、①申請給油所であることが確認できる給油所名称が特定できる写真②ステッカーを貼付している計量機や釣銭機又はセールスルーム（チラシ等の場合）等の写真を添付すること

４．補助金適正化法に基づく適正管理

当該補助事業により取得した補助対象設備等については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（補助金適正化法）の規定に従い適正に管理するとともに、財産処分制限期間内に財産処分を行う場合は必ず事前に（一社）全国石油協会に報告・承諾を得た上で財産処分を行います。

以上

［石油協会記入欄］

補助対象設備等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ①ベーパー回収設備 | ②地下タンク等入換 | ③漏えい防止対策 | ④省エネ型洗車機 |
| ⑤ＰＯＳシステム | ⑥省エネ型ローリー | ⑦タブレット型給油許可システム | ⑧灯油タンク等スマートセンサー |
| ⑨自家発電機（中核SS） |  |  |  |

補助対象設備等設置状況確認調査

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第１回 |  | 第２回 |  | 第３回 |  | 第４回 |  |
| 備考 |  | | | | | | |

（細則様式１－３）

燃料油激変緩和事業 広報ステッカー貼付写真　提出用紙

|  |  |
| --- | --- |
| 社名及び  給油所名 |  |
| 給油所住所 |  |

|  |
| --- |
| 写真１（給油所名称が特定できる日付入り写真）  写真貼付 |
| 写真２（ステッカーを貼付している計量機、セールスルーム等の日付入り写真①）  写真貼付 |
| 写真３（ステッカーを貼付している計量機、セールスルーム等の日付入り写真②）  写真貼付 |